

会員の皆様にお聞きました

新南陽の景況感

調査概要

調査対象期間	2022年1月～3月（現状）における景況感と、2022年4月～6月（今後）における景況感通し
調査対象	新南陽地域の企業84社
調査方法	商工会議所経営指導員等職員の巡回相談時に調査票回収
調査項目	「業況」、「売上高」、「採算」、「仕入単価」、「従業員」、「設備」、「資金繰り」

産業全体

業況DIIは再び低下、持ち直している業種は若干有るがほとんどの業種で業況DIIはマイナス値、先行き見通はさらに低下、依然として厳しさが続く。

新南陽地域の2022年1月～3月期の業況DIIの全産業合計値は▲65.2%となり、前期調査（2021年10月～12月期）よりもマイナス幅が8.4ポイント拡大した。全国では「第167回中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構）」全産業の業況DIIもマイナス幅は拡大している。

新南陽地域の今後3カ月の先行き見通しも、全産業合計値のマイナス幅はさらに拡大する見通しとなっており、従業員、設備はプラス（不足）値を示している。全国では「第167回中小企業景況調査」の全産業合計値は、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

全国的には、まん延防止等重点措置が延長され、営業制限やイベントの中止が続く中、観光関連や対面サービス業を中心に売上が低迷するほか、製造業では、慢性化する部品供給制約に伴う生産調整の影響を受けた自動車関連の動きが押し下げ要因となっている。

【製造業】

業況DII、売上高DII、採算DIIが前回の調査に比べてマイナス幅が縮小、設備DIIは100%（全事業者が良好と回答）されている。仕入単価DII、資金繰りDIIは前回と同じで▲100%（全事業者が悪いと回答）。

今後3カ月の先行き見通しは、業況DII、売上高DIIのマイナス幅が拡大する見込み。原油価格高騰により採算は悪化しているとの報告有。

【サービス業】

業況DII、売上高DII、設備DII、資金繰りDIIが前回の調査に比べてマイナス幅が拡大している。また、仕入単価DII、資金繰りDIIは▲100%（全事業者が悪いと回答）。

今後3カ月の先行き見通しは、業況DII、売上高DII、採算DII、設備DIIのマイナス幅が縮小する見込み。イベントの中止等、コロナの影響は外出減少に加えて、物価上昇の影響も出ているとの報告有。

【飲食・宿泊業】

業況DII、売上高DII、採算DIIが前回の調査に比べてマイナ

ス幅が拡大している。仕入単価DII、資金繰りDIIは依然として▲100%（全事業者が悪いと回答）。今後3カ月の先行き見通しは、売上高DII、採算DIIがさらにマイナス幅が拡大して、従業員DII、設備DII以外の項目が▲100%（全事業者が悪いと回答）となる見込み。

仕入価格上昇により価格の見直し検討中や、プレミアム食事務終了による来店減少との報告有。

【建設業】

業況DII、売上高DII、採算DII、設備DII、資金繰りDIIが前回の調査に比べてマイナス幅が縮小している。悪化した項目は無い。

会員の声

【卸・小売業】

- ◆プレミアム商品券などの政策で、自己消費用の酒の販売量は少しずつ増加している。しかし、おみやげなど、人の往來の機会が減ると、それともなって手みやげ需要のものは減少している。
- ◆年末・年始の売上は昨年を上回ったものの、山口県でまん延防止等重点措置が適用されたことから、その間売上が減少。更に世界情勢の不安から原油・原材料価格が高騰しており、仕入価格にも影響が出てくるものと思われる。4月～6月期の売上は昨年との比較では、同水準で推移するものと思料する。
- ◆原油価格上昇により仕入単価の着しい上昇により売上数量減少がみられて来ている。支援金も売上高だけでは足りない。

【製造業】

- ◆新型コロナウイルス第6波と思われる不況で墓石にまで出費出来ないと言った声が多い。
- ◆数量は需要旺盛で増加計画だが、輸送コスト、各種原材料の値上げ影響により、減収の計画。

【サービス業】

- ◆コロナが、なかなか収束しない状態での物価上昇（ウクライナ情勢）は、しばらく厳しい状態を覚悟する。
- ◆新型コロナウイルス感染症により、外出の減少、原油価格の高騰、仕入価格の動向が気になります。
- ◆新年会やイベントが中止される事で仕事の依頼が減少。

【飲食・宿泊業】

- ◆仕入価格の上昇で全面的な値上げを考えている。
- ◆プレミアム食事券など色々なものが2月末で終わったため、3月から売上げが一気に減少しました。3月には通常歓迎会など、12月の忘年会時期に次ぐ宴会が多い月なのですが歓迎会もほとんどゼロです！すごく不安になりますね！

【建設業】

- ◆大手鉄道会社関係の仕事を中心としていた為、新型コロナウイルスで新幹線等々の乗客が（リモートワークにより）減り工場の注文がなく現在に至っている。
- ◆原油価格の高騰に伴う仕入単価の上昇とそれに伴う経済の活動が鈍化することが非常に不安です。

【運輸業】

- ◆前月に引き続き船員の求職者が少なく採用活動に苦慮。（特に機関士）

【保険業】

- ◆サイバーセキュリティ関連の保険のニーズが一気に高まってきました。自社がウィルス感染し、取引先に損害を与えた場合か、実際にウィルス付のメールを開いてしまった後の対処方法を気にされる方が増えています。
- ◆コロナ禍の影響か、取引先の収益が悪化している所もあり、採算が減少している。又、ウクライナ情勢や原油価格の高騰による、原材料費が高くなっており、取引先の製造業や建設業にはかなり影響がある様に見える。

目は、仕入単価DIIのみとなる見込み。

原油価格高騰による燃料等の上昇で利益が減少等の報告有。

【保険業】

採算DII、設備DIIは、▲100%（全事業者が悪いと回答）、その他の項目は全てゼロ。

今後3カ月の先行き見通しは、採算DII、設備DIIの先行き見通しは、売上高DII、仕入単価DII、資金繰りDIIはプラスに転じている。設備DII、資金繰りDIIはプラスからゼロとなる。

取引先の仕入単価が上昇による業況低下を不安視しているとの報告有。